

『健康と環境』 試験問題集

1. WHOの健康の定義に含まれていないのはどれか。

- (1) 肉体的健康
- (2) 精神的健康
- (3) 社会的健康
- (4) 霊的健康

2. 歴史的な健康概念の変化で正しいのはどれか

- (1) 身体概念→心身概念→生活概念
- (2) 身体概念→生活概念→心身概念
- (3) 心身概念→身体概念→生活概念
- (4) 身体概念→心身概念→社会概念

3. 公衆衛生学で正しいのはどれか

- (1) 臨床医学が中核になっている
- (2) 人口集団の寿命の延長を目的とする
- (3) 会社などの職場の人達は対象としない
- (4) 適切な社会環境の整備は目的ではない

4. 公衆衛生的アプローチの対象領域でないのはどれか

- (1) 事業所
- (2) 学校
- (3) 地域社会
- (4) 病院

5. 公衆衛生活動で主な目的でないのはどれか

- (1) 疾病予防
- (2) 肉体的、精神的健康の増進
- (3) 活動能率の増進
- (4) 病院での疾病治療

6. ヒポクラテスで正しいのはどれか

- (1) ギリシャで下水道を作った
- (2) 疾病に対する生活習慣の重要性を強調した
- (3) シチリア島の出身である
- (4) ローマで上水道を作った

7. 紀元2世紀頃に、現在の「衛生学」の語源となる用語を用いて、衣食住の健康に対する重要性を指摘した人物は誰か

- (1) ヒポクラテス
- (2) アスクレピウス
- (3) ガレヌス
- (4) アリストテレス

8. 世界における公衆衛生の発展で正しいのはどれか
- (1) 第1期は予防接種方法の確立期である
 - (2) 第2期は病院医療の確立期である
 - (3) 第3期は抗生物質治療などによる公衆衛生発展期である
- (4) 第4期はキュアよりケアの時代である

9. 世界における公衆衛生の発展で誤りはどれか
- (1) 第1期は伝染病の流行予防の開始
 - (2) 第2期は予防接種の確立期
- (3) 第3期は予防医療の定着期
- (4) 第4期はキュアよりケアの時代

10. 「衛生」で正しいのはどれか
- (1) 貝原益軒が訳した用語である
 - (2) 杉田玄端が訳した用語である
- (3) 長与専斎が訳した用語である
- (4) 緒方正規が訳した用語である

11. 養生と衛生とで正しいのはどれか
- (1) 養生は個人的・積極的、衛生は社会的・消極的である
- (2) 養生は個人的・消極的、衛生は社会的・積極的である
- (3) 養生は社会的・積極的、衛生は個人的・消極的である
 - (4) 養生は社会的・消極的、衛生は個人的・積極的である

12. 天然痘について誤りはどれか
- (1) 牛痘法は18世紀に英国人ジェンナが実施した
 - (2) 日本にはオランダ人医師モーニケが牛痘法をもたらした
- (3) 日本での種痘所の開設は明治時代である
- (4) WHOは1980年総会で天然痘の撲滅宣言をした

13. 陸軍軍医として兵食の研究を行ったのは誰か
- (1) 森林太郎
- (2) 北里柴三郎
 - (3) 後藤新平
 - (4) 高木兼寛

14. 日本の衛生学の創始者といわれるのは誰か
- (1) 森林太郎
 - (2) 北里柴三郎
- (3) 緒方正規
- (4) 後藤新平

15. 第二次世界大戦直後の公衆衛生上の重点政策でないのはどれか

- (1) 急性伝染病対策
- (2) 慢性伝染病対策
- (3) 母子衛生対策
- (4) 成人病対策

16. 第二次世界大戦直後の日本の公衆衛生上の4つの重点政策で正しいのはどれか

- (1) 急性伝染病対策、慢性伝染病対策、母子対策、栄養改善対策
- (2) 急性伝染病対策、慢性伝染病対策、母子対策、成人病対策
- (3) 急性伝染病対策、慢性伝染病対策、成人病対策、公害対策
- (4) 急性伝染病対策、母子対策、成人病対策、栄養改善対策

17. 公衆衛生活動で正しくない組合せはどれか

- (1) 保健統計 — 有害要因の推定と同定
- (2) 健康教育 — ヘルスプロモーションの一部
- (3) 試験検査 — 環境要因の分析
- (4) 保健福祉事業 — 3歳児健康診査

18. 健康教育で正しいのはどれか

- (1) 計画的、公式に行われる健康に関する教育活動である
- (2) 健康教育活動の評価には詳細なプロセス評価は必要ない
- (3) 健康教育は保健師のみが行えばよい
- (4) 保健活動は健康教育の機会を提供する

19. 地域保健で正しいのはどれか

- (1) 地域の特性に応じた地域保健活動の展開が重要である
- (2) 地域保健での健康管理の単位は町内会である
- (3) 学生、生徒、児童が健康管理の対象である
- (4) 勤労者が健康管理の対象である

20. 地域保健で誤りはどれか

- (1) 地域の特性に応じた地域保健活動の展開が重要である
- (2) 地域保健での健康管理の単位は家族が重要である
- (3) 主婦、乳幼児、退職した高齢者の健康管理が重要である
- (4) 地域の行政が行う活動なので地域特性に縛られるべきではない

21. 日本の健康管理で正しいのはどれか

- (1) 救急処置は対象となっていない
- (2) 行政体系の中になかなか概念が取り入れられなかった
- (3) 結核対策で効果をあげた
- (4) 健康診断の技術の進歩は遅れ気味であった

22. プライマリケアで正しいのはどれか

- (1) 一次医療を重視したケアである
- (2) 二次医療を重視したケアである
- (3) 三次医療を重視したケアである
- (4) 全ての健康についてのケアである

23. スクリーニングで正しいのはどれか

- (1) 症状発現前の疾病のみを対象とする
- (2) 目的は疾病の診断である
- (3) 目的は特定の疾患の患者と健常者の分類である
- (4) 試験検査には日数や経費がかかっても確実な手法がよい

24. スクリーニングの有効性で正しいのはどれか

- (1) 感度とは全対象者の中での真陽性の割合である
- (2) 特異度とは全対象者の中での真陰性の割合である
- (3) 感度とは実際の患者の中での真陽性の割合である
- (4) 陽性反応的中度とは実際の患者の中での真陽性の割合である

25. スクリーニングの有効性で正しいのはどれか

- (1) 感度とは全対象者の中での真陽性の割合である
- (2) 特異度とは全対象者の中での真陰性の割合である
- (3) 感度とは実際の無疾病者の中での真陽性の割合である
- (4) 特異度とは実際の無疾病者の中での真陰性の割合である

26. 以下の表から、感度を求めよ

表. 胃がんのスクリーニング

胃がん	スクリーニング		計
	(+)	(-)	
あり	8	2	10
なし	1992	7998	9990
計	2000	8000	10000

(答) 感度 = $8/10 = 0.8$

27. 以下の表から、特異度を求めよ

表. 胃がんのスクリーニング

胃がん	スクリーニング		計
	(+)	(-)	
あり	8	2	10
なし	1992	7998	9990
計	2000	8000	10000

(答) 特異度 = $7998/9990 = 0.801$

28. 環境保健で正しいのはどれか

- (1) 主体－環境系モデルは、二元論モデルである
- (2) 環境形成作用は、環境の生物への作用をいう
- (3) 健康を心身概念として把握する
- (4) 生活の場には職場は含まれない

29. 環境要因の組合せで誤りはどれか

- (1) 物理的環境 — — 気温
- (2) 化学的環境 — — ガンマ線
- (3) 生物学的環境 — — ネズミ
- (4) 社会的環境 — — 職業

30. 内部環境で正しいのはどれか

- (1) 内部環境とは体腔内の環境のことである
- (2) 血液の pH は酸性食品の摂取で酸性に偏る
- (3) 血液の pH はアルカリ性食品の摂取でもほぼ一定である
- (4) 内部環境は外部環境の影響を受けやすい

31. 適応で正しいのはどれか

- (1) スポーツ選手が高地トレーニングで循環器系の能力を高めるのは適応の例である
- (2) 暑い地域に住むと身体が慣れるのは適応の例である
- (3) 黒人や白人の皮膚の色が異なるのは適応による
- (4) 適応は一世代限りの合目的変化である

32. 順化で正しいのはどれか

- (1) 人種により皮膚の色が異なるのは順化による
- (2) 順化は経世代的に遺伝する
- (3) 暑い地域に住むと身体が慣れるのは順化である
- (4) ある環境に順化すると、もとには戻らなくなる

33. 対流圏は地上何キロメートル辺りまでか

- (1) 8 キロメートル
- (2) 13 キロメートル
- (3) 18 キロメートル
- (4) 23 キロメートル

34. 最小影響量の説明で正しいのはどれか

- (1) 生体にいかなる影響も検知されない負荷量のうち、最大のもの
- (2) 生体影響が検知される負荷量のうち、最も小さい負荷量
- (3) 一時的機能障害を起こす負荷量のうち、最も小さい負荷量
- (4) 恒久的障害を起こす負荷量のうち、最も小さな負荷量

35. 公害や健康被害を防止したり、望ましい生活環境を確保するため、政府が設定するものを何と呼ぶか

- (1) 判定
- (2) 指針
- (3) 勧告
- (4) 基準

36. 環境のリスク研究とリスク評価で関係のないのはどれか

- (1) 有害性の確認
- (2) 曝露評価
- (3) リスク・コミュニケーション
- (4) リスクの判定

37. 環境リスクの管理で関係のないのはどれか

- (1) ゼロリスクの原則
- (2) リスク分割の原則
- (3) リスク一定の原則
- (4) リスク・ベネフィットの原則

38. 大気の組成で最も多いのはどれか

- (1) 窒素
- (2) 酸素
- (3) アルゴン
- (4) 二酸化炭素

39. 地球の温暖化の原因でないのはどれか

- (1) 二酸化炭素の増加
- (2) メタンの増加
- (3) フロンの増加
- (4) 火山灰の増加

40. オゾンホールの主な原因はどれか

- (1) 二酸化炭素の増加
- (2) メタンの増加
- (3) フロンの増加
- (4) 火山灰の増加

41. 一酸化炭素の特性で誤っているのはどれか

- (1) 空気より重い
- (2) 無味、無臭
- (3) タバコの煙に含まれる
- (4) 毒性が強い

42. 窒素酸化物で正しいのはどれか
- (1) 固定発生源への対策が急がれている
 - (2) 移動発生源への対策が重要である
 - (3) 四日市公害の主原因物質である
 - (4) 肝障害を起こしやすい
43. 光化学オキシダントの主原因物質で正しいのはどれか
- (1) オゾン
 - (2) フロン
 - (3) 二酸化炭素
 - (4) メタン
44. 温熱の4要素で正しい組合せはどれか
- (1) 気温、気湿、気流、気化熱
 - (2) 気温、気湿、気流、輻射熱
 - (3) 気温、気湿、気化熱、輻射熱
 - (4) 気温、気流、気化熱、輻射熱
45. 空気の冷却力が大きい場合の人体の反応で正しいのはどれか
- (1) 皮膚血管の収縮
 - (2) 皮膚結果の拡張
 - (3) 汗腺活動の開始
 - (4) 酸素摂取量の低下
46. 温熱中枢の失調による熱中症で正しいのはどれか
- (1) 熱痙攣
 - (2) 熱疲労
 - (3) 熱ストローク
 - (4) 熱失神
47. 人体に占める水分量の割合で正しいのはどれか
- (1) 45%
 - (2) 55%
 - (3) 65%
 - (4) 75%
48. 飲料水の判定基準で病原微生物による汚染指標はどれか
- (1) 窒素化合物
 - (2) 溶存酸素量
 - (3) 浮遊物質
 - (4) 化学的酸素要求量

49. 都市下水の特徴で正しいのはどれか

- (1) 除草剤などの農薬が多く含まれる
- (2) 人間の尿尿に由来する汚染物が主である
- (3) 有機水銀などの化学物質を多く含む
- (4) 熱排水の問題が大きい

50. カドミウム汚染による健康被害で正しいのはどれか

- (1) 水俣病
- (2) 新潟水俣病
- (3) 川崎病
- (4) イタイイタイ病

51. 環境汚染の健康影響の組合せで正しいのはどれか

- (1) 水俣病 — 有機水銀
- (2) 四日市公害 — カドミウム
- (3) イタイイタイ病 — 亜鉛
- (4) 新潟水俣病 — ダイオキシン

52. 非電離放射線で正しいのはどれか

- (1) アルファ粒子
- (2) ベータ粒子
- (3) 紫外線
- (4) ガンマ線

53. 粒子状物質でないのはどれか

- (1) 蒸気
- (2) フェーム
- (3) 煙
- (4) ミスト

54. 有害環境因子の抑制で誤りはどれか

- (1) 置換／代用
- (2) 隔離
- (3) 環境の整理、整頓など
- (4) 不適格者の排除

55. 一過性聴力損失で損失が最高なのはどの領域か

- (1) 2000 Hz
- (2) 3000 Hz
- (3) 4000 Hz
- (4) 5000 Hz

56. 電離放射線による晩発性障害で正しいのはどれか

- (1) 食思不振
- (2) 血性下痢
- (3) 白血病
- (4) 脱毛

57. 第1種の有機溶剤で正しいのはどれか

- (1) ガソリン
- (2) クロロホルム
- (3) トルエン
- (4) アセトン

58. イタイイタイ病で誤りはどれか

- (1) 富山県神通川流域で多発した
- (2) 経産婦間に多発した
- (3) 骨軟化症に類似した症状である
- (4) 肝障害が多発した

59. 水俣病で正しいのはどれか

- (1) 砒素中毒症である
- (2) 視野狭窄、知覚障害などが認められる
- (3) 骨粗しょう症が認められる
- (4) 神岡鉱山の廃水による

60. 新潟水俣病で正しいのはどれか

- (1) 1950年代に患者が確認された
- (2) 昭和電工鹿瀬工場の排水による
- (3) 硫化水素による健康被害である
- (4) 日本ガス化学工場の排水による

61. 窒素酸化物による健康被害で正しいのはどれか

- (1) 固定発生源が主原因である
- (2) 移動発生源の問題が大きい
- (3) 硫黄酸化物による汚染の方が問題が大きい
- (4) ディーゼル車の排出規制はガソリン車より厳しい

62. 重金属類や化学物質などが、食物連鎖を通じて、濃度が高くなっていく現象を何と呼ぶか。正しいのを1つ選べ。

- (1) 生体濃縮
- (2) 食物濃縮
- (3) 連鎖濃縮
- (4) 生物濃縮

63. 公害対策の総合的推進を図り、国民の健康を保護するとともに、生活環境を保全することを目的として、1967年に制定された法律を何というか。

- (1) 環境基本法
- (2) 公害対策基本法
- (3) 大気汚染防止法
- (4) 生活環境保全法

64. 生物化学的酸素要求量（BOD）の説明で正しいのはどれか

- (1) 数値が大きいほど無機物による汚染が進んでいる
- (2) 数値が小さいほど無機物による汚染が進んでいる
- (3) 数値が大きいほど有機物による汚染が進んでいる
- (4) 数値が小さいほど有機物による汚染が進んでいる

65. 化学的酸素要求量（COD）の説明で正しいのはどれか

- (1) 数値が大きいほど有機物による汚染が進んでいる
- (2) 数値が小さいほど有機物による汚染が進んでいる
- (3) 数値が大きいほど有機物や無機物による汚染が進んでいる
- (4) 数値が小さいほど有機物や無機物による汚染が進んでいる

66. 人間の各種活動により、湖沼、河川などの地表水に、窒素やリンのような植物栄養素の流入量が増大し、藻類や植物プランクトンの繁茂が促進される状態を何というか

- (1) 窒素リン化
- (2) 栄養素増大化
- (3) 富栄養化
- (4) 栄養促進化

67. 物理的環境に含まれないのはどれか

- (1) 赤外線
- (2) 紫外線
- (3) 二酸化窒素
- (4) 騒音

68. 人間工学的環境はどれか

- (1) リーダーシップ
- (2) 機械類のレイアウト
- (3) 労働時間
- (4) 労働者の満足度